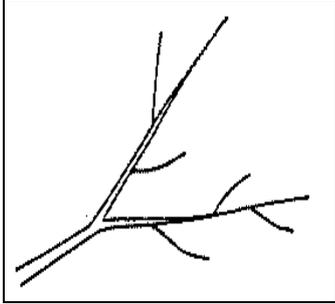


第 17 回 農業後継者りんご整枝剪定競技会（筆記試験）

団体名		番号		氏名	
-----	--	----	--	----	--

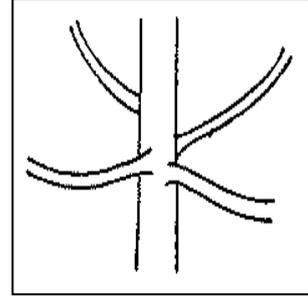
問題 1 次の図の名称を下の用語から選び、答えなさい。 12 点（各 2 点）



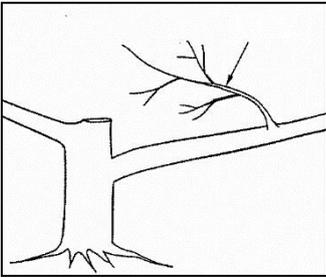
( 共枝 )



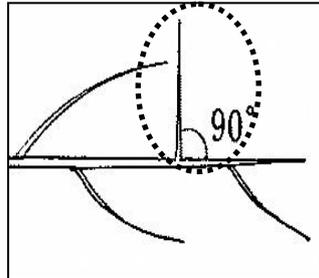
( 平行枝 )



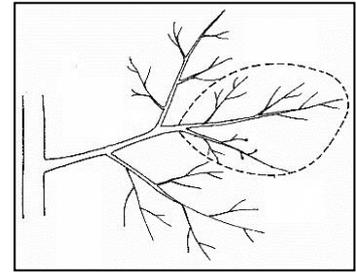
( 車枝 )



( 逆向枝 )



( 角枝 )



( 結果母枝 )

角枝	共枝	フェザー	車枝	逆向枝	平行枝	同年枝	結果母枝
立枝	新梢	予備枝	結果母枝群	結果枝	更新枝	けん制枝	

問題 2 次の文章に当てはまる用語を選び、答えなさい。 16 点（各 2 点）

- |                                  |              |
|----------------------------------|--------------|
| ① 果枝長 0.6～5 cm の枝。               | ① <u>短果枝</u> |
| ② 2 年生枝の先端付近から勢力の似た枝が 3～4 本出た状態。 | ② <u>鳥足</u>  |
| ③ 枝の頂部（先端）に形成される芽。               | ③ <u>頂芽</u>  |
| ④ 枝の成長分岐点。年変わりの部分。               | ④ <u>年次</u>  |
| ⑤ 古い枝等にとって代わりつつあるか、代わった枝。        | ⑤ <u>更新枝</u> |
| ⑥ 枝の伸長が長果枝以上の枝。                  | ⑥ <u>發育枝</u> |
| ⑦ 新梢の先端の一部を切り返すこと。               | ⑦ <u>先刈り</u> |
| ⑧ 新梢が 20 ㎝程度伸びた頃に先端を摘むこと。        | ⑧ <u>摘心</u>  |

鳥足 最短果枝 短果枝 中果枝 發育枝 徒長枝 定芽 頂芽 腋芽 擬花芽 車枝 重なり枝  
予備枝 交差枝 やぐら枝 年次 副枝 更新枝 先刈り 摘心 蕾切り 蕾刈り 果台枝

問題3 次の文章の（ ）に正しい用語を下から選びなさい。 22点（各2点）

①枝は（ 高い ）位置や（ 先端 ）から出たものほど生育が旺盛である。これを（ 頂部優勢 ）という。

②果実の（ 肥大 ）や着色を促したり、翌年に向けて充実した花芽を形成するためには、（ 日光 ）と養水分が必要である。

③りんごの（ 花芽 ）形成は、主に7月上旬頃から8月下旬頃にかけて行われる。

④幹や枝、葉などの伸長肥大する生長を（ 栄養生長 ）、花をつくり、果実を生産する生長を（ 生殖生長 ）という。

⑤一般に弱小芽とは花芽の横径が（ 3ミリ ）以下のものをいう。

⑥若木や樹勢の強い樹には（ 間引き ）剪定、樹勢の弱い樹には（ 切り返し ）剪定が基本である。

切り返し	短い	先端	低温	基部	短幹	養水分	長幹	長い	日光	穏やか	肥大	間引き	花芽
時間	3ミリ	5ミリ	1センチ	高い	低い	高温	種子	生殖生長	栄養生長	頂部優勢			

問題4 整枝剪定の目的を3つ答えなさい。 12点（各4点）

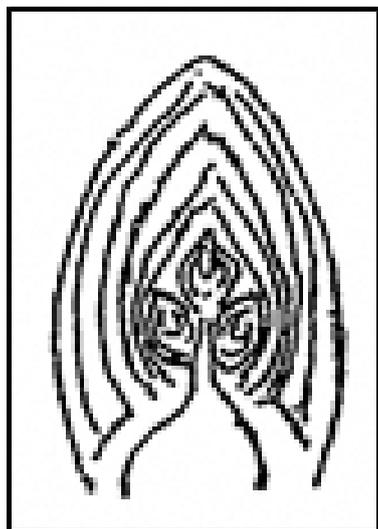
① 良品果の安定生産

② 樹を健全に保持

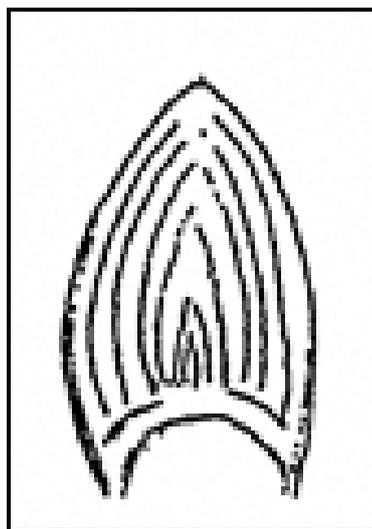
③ 作業しやすい樹を作る

問題5 「花芽」、「葉芽」の断面の様子を下記の図形の空白に書き込みなさい。 8点（各4点）

① 花芽



② 葉芽



問題6 次の問いに答えなさい。

15点 (各5点)

①Aさんは改植事業で10畝当たり列間8メートル、樹間6.5メートルで改植を行ったところ、10畝当たりの本数は何本になるか答えなさい。

$$10 \times 100 \div (8 \times 6.5) = 19.230 \dots$$

答え 19本

②Bさんは1袋当たりN10%、P6%、K5%が配合された肥料(20kg入り)を施肥したい。  
10畝当たり窒素成分を12kg投入する場合は何袋必要になるか？

$$20 \text{ kg} \times 0.1 = 2 \quad 12 \text{ kg} \div 2 = 6$$

答え 6袋

③1,000リットルのタンクに殺菌剤A 800倍を調合するとき、何ml必要となるか答えなさい。

$$1000 \div 800 = 1.25 \quad 1.25 \times 1000 = 1250$$

答え 1250ml

問題7 本県りんごの歴史について、下記の問いに答えなさい。

15点 (各3点)

①本県では令和7年にりんご定植何年を迎えるか。

① 150年

②昭和43年に「紅玉」、「国光」小玉の価格暴落となり、山や川に大量放棄されたことを俗になにと称したか。

② 山川市場

③りんご栽培の最初の苗木配布者及び試植者で、青森りんごの開祖と言われている。

③ 菊池楯衛

④青森りんごの戦後復興の祖と言われ、荒廃したりんご園を復興するため、先頭に立って運動し、「青森県りんご協会」を設立した。

④ 澁川傳次郎

⑤「国光」に変わる品種として、「ふじ」の栽培研究や無償で穂木を供与するなど、「ふじ」の普及に尽力した。

⑤ 齊藤昌美